

聖なる教会をめざして

— ハラスメントを題材として —

国内教会局長 内山 勝



「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。もし互いの間に愛があるなら、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」

（ヨハネ一三・34・35）

年會月を迎えました。全国から集まる牧師たちが霊の刷新を受け、喜びと感謝をもって新しい任地に赴けるように、牧師はもちろんですが、愛兄弟の皆さまに、祈りの手を上げていただきたくお願い致します。

年會では、「ハラスメント」を扱う研修があります。私たちの群れは「きよめ」の宣証を高く掲げて70年間歩んで来ましたが、なぜ今、「聖なる教会をめざして」というテーマで、ハラスメント問題を取り扱うのかと、違和感を覚える方がいるでしょう。私たちの群れが、そんなにも低レベルだと言いたいのかと、反発を感じる方さえあるでしょう。ごもつともです。

顧みて私たちは、どの程度「聖なる教会」を建て上げることができたのでしょうか。前掲の聖句は、客観的な検証を促しているようにも思えます。

イエスさまによれば、聖い教会とは、①「互いに愛し合う」教会です。②イエスさまから受けた愛をその通りに再現している教会です。③教会外の方々、兄弟姉妹の互いに愛し合う姿を見た時、「ああ、この人

たちは、本当にイエスさまの弟子たちなのだ」と認めてくださるような教会です。

つまり、私たちは、自称「聖い教会」で満足すべきではなく、世の評価に十分堪えられるような真に「聖い教会」を目ざすべきだということが分かります。

私たちは、実際どうなのでしょう。イエスさまが、予告なしに私たちの教会に来られたら、何をご覧になるのでしょうか。きよめという大義で振りかざす権威で「指導」でしょうか。きよめという基準で、互いに冷酷に裁き合う姿でしょうか。はたして、私たちに限って、そんなことがあるはずはないと言えるでしょうか。

互いに愛し合う聖なる教会には、①「自由」があります。自由とは、いかなる意味においても相手を束縛しないことです。②「対等な関係」があります。もちろんリーダーには一定の権限が与えられていますが、それは職務上のものであって、人格としてより優れていることを意味しません。何人も神の前には平等です。③「敬愛」があります。互いを尊敬し合うので、各々の気持ちや考えがとても大切にされます。

これらは皆、イエスさまが示してくださった模範です。明らかに、真に聖なる教会は、ハラスメントとは無縁なのです。だとすれば、私たちはまだ途上にあるのではないのでしょうか。謙ってそれを認め、現実と向き合う勇氣を与えていただくようではありませんか。

目次

- 聖なる教会をめざして……内山 勝……1
- 第71次年會を迎える、イースター霊想、JHA……2
- 教団運営委員会、東京デー、近畿教区CS 講習会……3
- 海外トピックス、国内局コラム、電子書籍案内……4
- 創立70周年 考察と提言、燭台……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

Immanuel

第71次年会を迎えて「しかし」を生きる



教団代表 藤本 満

「しかし」であり、信仰が造り出す「しかし」です。箱船を造ったノアの時代、人々の悪は増大し、人の心はいつも悪いことだけに傾いていました。でも聖書の話はこう始まります。「しかし、ノアの心は主にならなりました。」

主イエスの弟子たちは、祝福してくださいと集まってきた子どもたちを追い返そうとしました。「しかしイエスは、幼子たちを呼び寄せて、こう言われた。子どもたちをわたしのところに来させなさい。」それは、世の中の目とはまっ



「しかし、神に感謝します。神はいつでも、私たちを導いてキリストによる勝利の行列に加え、至る所で私たちを通して、キリストを知る知識のかおりを放つてくださいます。(Ⅱコリント一・14)

インマヌエルは第71次の年会を迎えます。人の生涯で言えば71歳です。高齢なのでしょうか。いいえ。様々な試練を超えて磨かれ、経験を積み上げ、祝福の味わいがよくやくわかるようになった壮年です。

問題課題は依然としてたくさんあります。解決の方策はなかなかみえてきません。しかし、私たちは、神に信頼すること、互いに愛し合うこと、一つとなることにかけては熟練した信仰の結晶を見るようになったと言わなければならぬでしょう。

私たちは、いつでもどこにいても「神のしかし」に生かされています。ここに絶対的な期待をかけています。どんな状況にあっても私たちのような弱く貧しい者が「勝利の行列に加えられている」だけでなく、こんな拙い者たち、こんなに小さな群を通して、「至る所で」キリストを知る知識のかおりを放つことができると約束されています。そのような年会であり、また新しい年度が始まります。

イースターの 霊想 いのちを祝うイースター



WGM 宣教師 ケビン・ザークル

死からよみがえったというものでした。それが私たちを死から救い、私たちをイエスのように変える福音です。

56、57節にはこう書かれています。「死のつげは罪であり、罪の力は律法です。しかし、神に感謝すべきです。神は私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。」もちろん、これは私たちが肉体的に死なないという意味ではありません。そうではなくて、死は私たちをその手にとらえる力をもはや持っていないと言ふことです。イエスさまがよみがえり、生きておられるので、私たちがまたそのように生きていくのです。

今日、世界中で起きている死に関する記事を目にするのは、ひとつところよりもずっと多くなつた気がします。自然死、病死、事故死、テロリストの襲撃による死、暴力的犯罪による死など、原因はさまざまですが、毎日死の報告がニュースとなっています。

死の記事ばかりに注目するならば、私たちは死におびえ、心はふさいでしまうことになるでしょう。

イースターに私たちが注目すべきはいのちです。そしてイエスさまがお命じになったことに従って日々を生きるのです。イエスさまの復活によって、私たちは勝利を得ていることを思い起こしてください。今年のイースターで、イエス・キリストの内にいるいのちとともに祝いましょう。

日本聖化協会……

これからの前進 新たな指針

王子教会 小林 佳

ＪＨＡは昨年創立30周年を迎え記念大会を行いました。全国各地から聖化の恵みを求める方々が集まり、大いなる祝福に満ちたひと時となりました。またこれを機会に、より広く聖化の恵みを伝えるため、さまざまな方策を検討し、以下の事が役員会・実行委員会の方角付けられました。

- ▼ＪＨＡの存在とその働きをより多くの方に知っていただくために、評議員会に信徒会員の方にも陪席していただくことを検討。
 - ▼日本福音連盟(ＪＥＦ)など、他の聖化を標榜する団体との協力関係をより深めていく。
 - ▼事務局の運営管理の適正化と更なる充実。
 - ▼神学的な知識ではなく、日々の信仰生活に結びつく実践的な聖化の恵みを伝えることを中心とした聖化大会を行う。
 - ▼インターネットをはじめとした様々なメディアを用いて、より幅広い世代の人々に聖化の恵みを伝えていく。
- 今後もお祈りとサポートをよろしくお願い致します。

教団運営委員会から……

新年度に取り組む 課題を決定しました

広報 川嶋直行



2月1日(月)、2日(火)本部の会議室で、教団運営委員会が開かれました。冒頭、代表より「さあ、向こう岸へ渡ろう」(マルコ四章35節)のみことばが開かれ、第71次年会に向けて、年会資料の確認と検討がなされました。

内容のすべてを詳らかにすることは出来ませんが、主な事項を紹介いたします。▼いよいよ、2017年9月に『聖書 新改訳2017』が出版されます。大きな改訂となるため、以前の版との併用は難しくなります。インマヌエル教団として「公式聖書」として採用するかどうかを含め、2017年の年会で検討いたします。▼引退後の牧師の相談窓口が設けられています。▼教団の会堂融資規定に記されている十分の一の感謝献金は、銀行融資の利息と釣り合いが取れるよう見直しを致します。また、教団の融資制度が出来る以前に銀行から借りて、現在も高い利息を払い続けている教会

のために、教団からの借り換えが出来るように制度を整えます。▼教団のホームページが、いよいよリニューアルされます。▼教会福音讃美歌に入っていないインマヌエル讃美歌から70〜100曲を選んで、『インマヌエル讃美歌選集』を作ることが決定されました。▼セクハラ等の人権相談室を、外部の専門機関にお願いすることを検討中です。▼ハラスメント防止のパンフレットについて、今年年会で確認し、今年の教区会での学びを持つようにいたします。教区会での意見を踏まえ、最終調整をした上で発行し、リーダー研修会を通して教団全体に浸透を図って行きます。▼北八朔にあるウエスレアン・センターの現状と今後の見通しが確認されました。▼IWFの宣教師を招く際、1人3万円、カップル4万円の交通費補助が出るようになりました。ご活用ください。▼新しい結婚サポートシステムの対象範囲を友好団体に広げることが確認されました。また、結婚セミナーが開かれます。▼今年、神戸で開かれる第6回日本伝道会議の申込方法、協力体制について確認されました。▼現在行われている神学院献金に代って、BTCの後援会制度を作ることについて意見交換がなされました。▼2015年度の一般会計補正予算書と決算書、並びに、特別会計補正予算書と決算書の説明が行われ、承認されました。項目だけではなく、以上報告いたします。

近畿教区CS教師講習会……

真実な愛をもって接する

クリスチャン・ホーム生徒の信仰形成



和歌山教会 久保光彦

今年の近畿教区CS教師講習会は、大阪伝法教会を会場にお借りして、2月11日(木・祝)に行われました。講師として、2012年「と

今年、大阪伝法教会を会場にお借りして、2月11日(木・祝)に行われました。

にキャン」の講師でもあった、岡山の日本同盟基督教団西大寺キリスト教会牧師・サムエル国際キリスト教学園校長の、西村敬憲先生をお迎えしました。午前は西村先生の講演を通して、クリスチャン・ホーム生徒の信仰形成の重要性、生徒一人ひとりへの丁寧なケア、教会学校の運営の在り方など、多くのチャレンジを参加者が受ける時となりました。午後は、少人数のグループに分かれ、午前の講演を通して感じたことなどを分かち合い、最後に、参加者から出された質問に西村先生が答えてくださる時を持ちました。とても有意義な質疑応答の時でした。

東京教区デーの恵み CSセミナーと交わりの会

お交わりのしあわせが

富士見台教会 野田 慎

「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんといいあわせ……。」(詩篇一二三・一)「東京教区デー」(2月11日祝日、会場「中目黒教会」)の目的は、CSセミナーと教区の兄弟姉妹

午前は、「CSセミナー」(講師「小川伴子師」と「散策と俳句」(担当「若月兄」)「将棋・オセロ」と別れました。お昼は中目黒教会の姉妹方によるお味噌汁、おいしいご飯のおもてなし。日ごろ会ったことのない教区の兄弟姉妹方も、食事をしながら良いお交わりの時をもっていました。

午後は、「新しいCS讃美を歌おう」(新しい賛美歌タイム・担当、伴子師、手話讃美・担当「小奈姉」)。「散策と俳句」(投句「将棋・オセロ」)「ホーリー先生とクッキング」(押し花教室「担当「佐藤明枝姉」)がありました。普段交わることのない方々との交わりはまさに「なんといいあわせ」で



現在CSに集っている子供たちに、人数のいかに関わらず、真実な愛をもって接することの大切さを教えられた講習会でした。



した。出席は58名でした。このような教区の楽しい交わり、お祈りの時が持てたことは大変幸いです。

国内教会局から

志と動力を与えられて 新しい年会年度の開始

今年(2016年)は年会が早い時期に召集されましたので、この原稿が皆様の目に留まりま



すのは年会直前か、終えてまもなくではないでしょうか。お互いに、一か年の歩みを顧みて感謝の壇を築き、新たな年度に向けてヴィ

ジョンと動力を頂いて立ち上がる時、「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです」(ピリピ二・13)との御約束に励まされることです。パウロが聖徒たちに「私のいない今はなおさら」(12節)と但し書きを

しているところに特に目が留まります。指導者方と同

労働者方と良きお交わりの中にしばしありましたが、再び任命を頂戴し、各々の任地に散じ行くお互い、改めて志も動力も神より賜るものと領いてご奉仕に身を当てはめて参ります。そしてこのような自立した歩みこそが全ての聖徒にとって「自分の救いの達成に努め」る生き方であることを証詞するのです。(葛田崇志)

「ゴッド・ブレス・アメリカ」も小学校で斉唱取り止め
米大統領の就任式でも歌われ、「第二の国歌」とも呼ばれる「ゴッド・ブレス・アメリカ」を生徒の団結のために校庭で歌わせていたニュージャージー州のハットン・ハイツのグレンビュー小学校が、違憲だとの指摘を受け、取り止めた。同校では、9・11同時多発テロ事件以後、生徒を運動場に集め忠誠の誓いを唱え、「ゴッド・ブレス・アメリカ」の斉唱を始めた。斉唱は全く自主的で、参加しない生徒は黙って立っただけでもよいとしていた。これに米市民自由連合ニュージャージー支部が注目。憲法修正第一条は、一宗教を他の宗教より優遇することを禁じているが、それは宗教を非宗教より優遇することにも適用される」とする書簡を学校区の地方検事に送付。「学校の配慮や権威の下にある感じやすい年齢の子どもには、学校、特に小学校で政府の優遇措置を露

わにしないよう最大の配慮をしなければならぬ」とした。これに対しサッサノ校長は、愛国的な伝統を守れなくなるのは遺憾だが、費用のかかる訴訟は避け

ることにしたと語った。突然の措置に父兄は混乱している。



海外トピックス

■各国「ユーバージョン」に見るお気に入り聖句
米誌『クリスチャニティ・トゥデイ』によると、ネット上で聖

書を提供するメディア『ライフ・チャーチ』が2008年に提供を始めた「ユーバージョン・バイブル・アプリ」のダウンロード数が2億件を越えた。現在900言語で1200種類の聖書を提供している。

「ユーバージョン」によると、米国とブラジルで最も読まれる聖句はローマ二・2。メキシコ、英国、韓国ではイザヤ書四一・10。ナイジェリア、南ア、フィリピンはエレミヤ書二九・11。カナダはエペソ一・23。中国は第一コリント一〇・13であるという。『ライフ・チャーチ』の開発担当『ポピー・グリュンワルド』牧師は「神がユーバージョンを通じてなされていることは信じられないほどだ。持ち運び出来る道具を聖書にされたのだ。誰もが行く先々に持つてゆく。インスタールされたのが2億件という規模だ。個人個人の数え切れない瞬間が聖書を読むことにある」と語る。(平瀬聡樹)

Kindle版電子書籍……

まさに現代の利器！ 電子書籍のご活用を

出版事業部 大津博子



今までも何度か紹介させて頂いていますが、イムマヌエルでは、3年前から信仰書を電子書籍化しKindle版として発行しています。JHAの書籍や、新改訳聖書の制作依頼も数多く受け、大変好評を得ています。

AmazonのKindleストアで検索してくださるとすぐに見つかります。Kindle機をお持ちでなくても、パソコンやタブレット、スマートフォンに、無料のKindleアプリを入れて読むことができます。また、1つのアカウントで6つのデバイス(機器)に配信可能ですので、ご夫婦や親子で使うことも可能です。通勤・通学の途上や出先で読んだ続きを、家のパソコンで読むこともできます。重くなくかさばりませんので、携帯に便利です。文字を大きくできますから、ご高齢の方々にも好評です。特にデイポーション用としてとても喜ばれています。

Kindle版電子書籍は、発行部数が少ないこともあり、品切れになりやすいのですが、電子書籍は、それがありません。この働きのために、お祈り頂けると感謝です。

教団創立70周年 青年大会を振り返り
全国アンケートの考察と提言7
 教会学校・中高生の部活
クリスチャンの「選択」

青年企画委員 岸良一

最終回のテーマは「教会学校・中高の部活」です。

アンケートでは、「教会学校での指導」が総合で四位、一位票では二位となり、多くの方が「①非常に大切な働きだが、②子どもが減っている」と危惧を感じておられました。そこで今回は特に部活選択の問題を手がかりに、連載最後の総括も含んだ提言をお分かちたいします。

部活の選択は大きな課題の一つで、これはアンケートの十代以下の総合順位一位が「部活動」であったことから明らかです。誘惑の危険性という問題もあります。やはり教会学校の生徒からすると、礼拝出席と運動部活動の選択が大きな課題ではないかと思えます。私(27歳)自身は、運動部に入るのを諦めました。練習だけで試合は出ないという中途半端を嫌う性格もありましたが、「メイ

ンの礼拝に出るのが望ましいならそちらを選ぶべき」という思いが強く、頭の中は「二者択一」一色でした。しかし選択後は「礼拝はむしろ大事なが、野球は捨てるに値するほど悪いものか?」そこで学ぶことも多いのでは?」と思ひ悩む葛藤の日々を送り、正しいことをしたはずなのに平安がありませんでした。

一体どうして? 当時の私に伝えたいのは「弱さ」です。これを知っていれば、先生に提示された早朝礼拝を選べたかもしれない。「聖日は皆で礼拝を捧げるべく戦う」方向性は保持すべきです。ただ、だれでも時には急病や急用などで、目指したい方向性をどうしても実現できないこともあります。これが人間の「弱さ」です。例えば日曜日の部活の試合などはこの種の事例だと私は考えます。中高六年間でしか得られない実に貴重な学びの機会であり、「自分の好みに合わせる」ことでは必ずしもないのです。主は「わたしの力は、弱さのうちに完全に現れる」と言われます。目指すべき方向性を願いつつも弱さを認め、それを委ねるとき、神様の力が全うされます。神様の恵みは常に十分なのに、人間の側で無理に強さを求めてはなりません。私はこれを知ってから徐々に傷が癒え始めました。神様の恵みは二者択一を超えたところに待っていることがあるのです。

以上を踏まえて皆さまと実践し

たいのは、教会学校の生徒数は一旦忘れて、今教会にいる子ども一人ひとり(子どもたち)ではなく「○○さん」として)に関心をもち、向き合い、励まし、愛し、仕えていくことです。「愛がないから去ってしまった」などということがないように、子ども一人ひとりが神様とつながれるよう自分のできること——声かけ一つでも大きい——を探して、そこから始めてみませんか。

ただ、この実践は常に選択・判断が必要です。アンケートの自由回答欄では、仏教(葬儀、焼香、墓など)との関わり、精神障害や同性愛などの課題、また科学(医療)技術の進展、平和問題、政治参加、高齢化などの現代的な課題が見られました。これらにもまた同じく選択・判断が要求されます。では何をどう選択していくのか。みことば「真実な自分の考え、他者の助言、状況の把握などは重要です。しかし、そのうえで「聖霊様が今何をなさうとしておられるか、私(たち)に何を求めておられるか」を問い、求めていきたいと思えます。聖霊はクリスチャン各人に与えられています。宝の持ち腐れになっていませんか。今この瞬間に生きて働かれる聖霊様ご自身に問い、従うとき、その結果は人間の想像をはるかに超えた恵み豊かなものとなります。聖霊に導かれ、具体的な答えを受けて皆さまと共に歩みたいと願います。

以上を踏まえて皆さまと実践し



ホーリネスの証人に

■教会の役員さんが、夕刻たまたま牧師館の前の道を通りかかったところ、室内の照明に浮かび上がるとても美しいシルエツトを目撃しました。「キヤー、助けて!」と、いつもは物静かな牧師夫人の悲鳴が上がりました。つづいて、「マテッー!」と、いつもは謹厳な牧師が、箒を振り上げて奥さんを追いかけているではありませんか。次の教会役員会でこのことが大きな議題となりました。牧師は言いました。「はい。あの夜、確かに私は箒を振り上げ、机におつかり椅子を倒しながら部屋を走り回りました。それは、突然ネズミが飛び出してきたのにびっくりした家内が、「キヤー、助けて!」と叫んだんです。その声を聞いた私は、すぐに近くにあった箒を取り上げ、そのネズミを追い回していたのです。」これは神学生時代に葛田眞實先生のクラスで聞いたアメリカン・ジョークでした。■「牧師が奥さんを箒を振り上げて追い回していたように見えた、という客観的事実」をどのように意味づけ、位置付けたいらいいでしょうか。このジョークは、物事を正しく公正に判断することの難しさを、私たちに教えているよ

うです。クリスチャンになってから、私がこの半世紀に経験した世界情勢の大きな出来事は、人類の月面着陸、第三次中東戦争、欧州経済共同体(EEC)から欧州共同体(EC)への変化、湾岸戦争、チェルノブイリ原発事故や福島原発事故などがありました。そして自然界における未曾有の大災害は次々に思い出されます。それらは私たちの「終末観・再臨論」に大きな影響を与えました。これらの終末的危機感、折々に「再臨を待ち望むクリスチャンたちの期待と緊張の針」を大きく振幅させました。1960年から70年代の教界印刷物にも良い意味で反映されていきました。■あれから半世紀近くが経過しています。今の私たちは、その当時の解釈をある程度客観的に検証することも可能になっています。そして近頃思うことは、世界情勢・社会情勢を分析・解釈するのは、臆病なほどの慎重さが必要だということです。自分の分析は聖書的で正しいものとし、具体的な出来事に対する解釈は控えたいものです。むしろ、「終末の今を生きる、ホーリネスの証人たること」に心を向けたいものです。(Ⅱペテロ三・14) (國光勝美)

巻頭言

信仰の交わりの拡大を



世界宣教局
野田 禎

「〇〇と言います。就活セミナーのご案内でまわっています。」



広げた翼

Immanuel
His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

日の友引の日にありますがいかがでしょうか……何でうちに？就活？しかも友引？と不思議に思ってお断りをしましたら、ポストにチラシを入れておくとのことでした。後でポストに行つてそのチラシを見ました。そこには、相続のこと、整理すべきこと、そして最後には葬儀費用のことが書かれてありました。鈍い私はチラシを見てやっと、「就活」ではなくて「終活」だということ、また、なぜ「友引か」ということが分かりました。みなさんの教会でも教会で終活のセミナーをしておられるかもしれません。その中で語られることの中に、いろいろな準備は必要ですが、最も大切なのは、「神の子とされ、永遠のいのち」を持つているか、そしていつも「御顔を仰

ぐことを喜びとしているか」ということが語られることでしょう。この「御顔」はヘブル語で「ファニーム」と言います。それは「神様の御臨在」という意味もあります。いつの日か私たちは愛するイエス様の御顔を直接見るようになります。その時に、「イエスさま、私はあなたを愛します。今日まで守られました。感謝します。でも主よ、地上での生涯を振り返つたとき、私はあなたの願っているような歩みができましたでしょうか。」とお聞きするとき、主は「困難な中、いつも私を愛してくれたね。そして最も小さい者たちのひとりにしてくれてありがとう」とお答えになるでしょう。

先日、日本からの荷物の中に、「台湾総統選挙と今後の展望」と題する新聞報道の切抜きが同封されていました。日台関係は、近年非常に親密なものとなっておりますが、日本でも今回の総統選挙の行方に関心を持たれていることをうかがい知ることができました。結果は、報道の通りです。野党候補者の勝利、初の女性総統の誕生、加えて立法委員の初の野党過半数議席獲得という初物尽くしで、前回の時よりもより安定した政治運営がなされるのではないかと言われています。とはいえ、国の内外に待ったなしの問題が山積している情勢です。引き続き、政治や経済、治安の安定のために、お祈りをお願いします。



TAIWAN

台湾

平瀬義樹・光世*2016年2月12日

記録しました。平均気温が20度を大きく上回る台湾では、異例の低温で、特に暖房設備がほとんど備わっていない家屋では、大変な異常事態となりました。その数日間だけで、心筋梗塞、心臓発作や低体温症などで、救急搬送される方が後を絶たず、救急車が常に出勤している状況で、およそ60名を越える方がなくなられたと報道で伝えられています。

台中教会では、数年前に日本より持ち込んだ小型のファンヒーターが大活躍し、集会時には、会堂を暖かくして集会を守りますが、それでも南国夏仕様のため、天井が高く、築35年を経た家屋は、至る所から隙間風が多く、なかなか温まりません。オーバーやジャンパーにマフラー、時にはマスクや手袋、帽子を着込んで、フル装備で教会に来られ、集会を守られる兄弟の姿にとっても驚かされます。

異例の寒波の中で、大型連休を利用し、日本に帰省される邦人の愛兄弟が多くおられる中、毎回の集會に、真実に励んで集われる愛兄弟、クリスマス以降続けて来會中の方々、ホームページなどを見て、初めて来會された方々が入れ替わりで与えられています。特に、昨年末から愛兄弟方の知人や友人が連れられる形で、祈祷会に集われ、ほぼ毎週励んでおられます。2月21日には、今年の台湾訪問の第一弾として、那覇教会の四名のゲストをお迎えしての特集が予定されています。

2月6日早朝(午前3時57分)、台湾南部でM6.4の地震が発生しました。私たちの住む台中でもかなりの長さの横揺れと振動、繰り返される余震を感じました。地震から一週間が経過し、その被害状況の全容が判明しつつありますが、今回の地震で大きな被害を受けたのは、横倒しになった16階建ての複合マンションです。すでに他の被害のあった建物での救助活動はすべて終了しています。大きな被害の原因が専門家により調査解明されつつありますが、この建物が建てられたのが、1999年の台湾中部大地震の以前であり、あの震災以降大幅に建築基準が改められ、厳格化されたものの、それ以前の建築ではよく見られた手抜き工事、欠陥建築が原因ではないかと言われています。

台湾には、こうした2階以上の建物で1階の地上部分を柱にした1階吹き放ちのピロティ型の建築形式の建物が多く、その大部分が築20年を経過して老朽化し、耐震対策が大幅に遅れていると警鐘が投げかけられています。地震直後より台湾日本語集会の方々の安否確認の連絡を取り、無事であられることを確認しました。日本語集会の会場である台南聖教会のメンバーの中には、今回のマンションに関係者や知人がおられたとの情報も入っています。大きな心の痛みをおった方々のために、引き続き、覚えてお祈り下さい。 ■



香港

鹿島義喜・朱蕙芬*2016年2月4日

昨年は、多くの愛兄弟の帰国がありました。創立時から幹事として労してくださいましたご夫妻も香港での40年間の生活を後に、帰国されました。同じく年末には創立時より幹事として労してくださいました兄弟も、急に日本に帰られました。三人とも香港で受洗されましたが、引き続き日本でもイムヌエル教会で信仰を守っておられることは大きな励みです。その他、引越しや仕事の関係で一緒に教会生活を送れなくなった方々もおられ、厳しい一年でした。

新年に入ってから3日に年頭礼拝を捧げ、31日には、第6回教会総会を持つことが許されました。経済的にも厳しい中を通過してはおりますが、主に望みをおきつつ、前進しております。御国の国籍をいただいているお互い(ピリピ三章20節)、その特権を感謝しつつ、キリストの福音に相応しく生活し、宣教のため協力していくことを願われました。



感謝なことに、今年のイースターには、洗礼式を控えております。11月11日に深圳ではつきりと信仰告白・決心をされた姉妹の洗礼準備の学びが始められています。深圳においては、この3年間に4回、牧師館の移動をせざる得ないところを通されましたが、今借りているところも、契約は7月まで、すでに売りに出されています。時がきたら動かなければなりません。次のステップとして定期集会が持てるようにと祈っておりますが、深圳の不動産状況を考える時、深圳からバスで2時間、高鉄(新幹線)で39分の広東省の省都広州での働きも視野に入れています。ここには日本人学校があり、トヨタ・ホンダ・日産の自動車工場もあります。二千年の歴史もある都市です。主の導きをお祈りください。 ■



ボリビア

三森邦夫・加寿子*2016年2月9日

新年から、コトカ市で礼拝が始められています。センターに集まっていた人たちの8割方は、そちらに加わっています。会場を提供している、タティアナ、フェルナンド夫妻の親戚が大勢いるので、その人たちの伝道が最初の仕事になりそうです。今のところ神学生のエゼキエル兄とその家族、塔野兄らが応援の形で加わっていますが、グループが成長したら、他の場所に姉妹教会を始める計画です。

神学校に今3人の兄弟が学んでいます。さらにフェルナンド兄が大学の神学部の集中講義を受けようと祈っています。彼はサンタクルスの中でも大規模な霊園の管理職にいますが、土曜日完全に休暇をとれるように上司に申請中とのこと。これもお祈りが必要です。いずれにしても、彼らの一人でも、牧師の免許(政府が要求しています)を取得して、彼らだけで運営していけるようになるには、4、



5年ばかりそうです。一方、センターでは、木曜日の夜、いまコトカ教会の中心になっているエゼキエル兄夫妻とフェルナンド兄夫妻に、訓練コースを行っています。牧会の上で必要な指導ですが、説教をはじめ、献金、対人関係、教理など、実際のな問題について指導しています。宣教師の下で、何もかもそろっていた環境から、自立していくプロセスを通りつつある姿を見守っています。親離れ、子離れのつらいステージをみんなで通っているとありますが、ボリビアでは、何代にもわたって親離れ、子離れができない家庭が多く、この経験を通して彼らがボリビアの社会にも大きく貢献してくれることと思います。 ■ (写真はコトカでの主要メンバーです)



KENYA

ケニア・テヌウェク

葛田就子*2016年2月6日

11月の心臓外科週から12月の主任代行、間には教区会の食事担当や会場設営の責任なども入り、気の緩む間もいまま新年を迎えました。1月には、WGM女性リトリートの計画があると聞き、参加申込みをさせて頂きました。実際にはアメリカのクリスチャン団体の主催で、現地への往復交通費を除く費用一切をその団体が負担して下さいました。内容は、エレメンタイタ湖のほとりで3泊4日、別の日に1日集会、さらに別の日にランガッタ教会周辺の女性大会が開かれました。なお私も参加が許される中、ナイロビでの買い出しも出来感謝でした。

リトリートにおいては、心身共に励ましと回復がゆるされまし。ヤコブの生涯を中心とした御言葉の説き明かしがあり、またゆつたりとしたプログラムであったことも幸いでした。数人の女性医師が参加できなかったのは残念ですが、既婚の女性宣教師もほとんど参加が許され、「今度は男性リトリートの企画も必要ね」という声も聞いています。

恵まれてテヌウェクに戻る前日頃、テヌエク構内の一部の宣教師のベランダや車の周辺が荒らされて盗まれる事件が起きました。構内の現地スタッフの車からもバッテリーが抜かれたりしたそうです。実は新しい宣教師の周りにあったフェンスが昨年道路工事の関係で取り壊されていて、気が付いたら野ざらし状態になっていた、ということがあり、別のスタッフの古い車が盾のようにあったものの、あのままでは、持って行かれたかもしれないと冷や汗をかいたことがありました。そのことで「盾」の持ち主にお礼を言った所、「あの車はまだこの辺では珍しいから盗みにくかった、というのもあると思うよ」と教えて下さいました。改めて、主の見守りに感謝いたしました。フェンスが戻るまで時間がかりそうなので、今は少し移動して、建物の陰になるように駐車しています。

2週間ほど前には5年コースを無事修了されて2人の外科医が誕生しました。どちらも医療過疎の所から来られたようですが、それぞれの地に戻って行かれます。

2月6日の今日は、チャブレンコースと看護学校の合同卒業式でした。この学年は国家試験の発表が遅れたために、昨年の11月卒業予定が大幅に遅れたものです。式の方は、無事終了し、今年から手術室スタッフに加わったC姉もこの式に臨みました。

以前脳神経外科のお父さんと一緒に来られた女の子が、新生児室の見学をしました。それ以来、「自分に何か出来る事はないだろうか、でもまだ高校生だし、医療関係でもないし……」とずっと心にかかって祈っていました。ゴルフ部の彼女は、「もし試合でパーディーが出せたら5ドル、または10ドル、または……」という募金アイデアを与えられ、真剣に取り組みました。「パーディーフォーベイビー」と名付けられたこのキャンペーンに多くの人が賛同し、同世代でこのシーズントップクラスの成績を取った彼女のもとには、最新式の保育器を1台買えるほどのお金が集まりました。今月、お父さんと再訪した彼女の列席を得て、保育器の献別式が行われ、利用者第一号の赤ちゃんからの手紙が読み上げられました。これも短いビデオにまとめてYouTubeに載っています。お祈りをよろしくお願いいたします。

お祈りの課題

- 会計報告1月分
宣教献金 二、三、五七、七三八円
月平均 二、三、五七、七三八円
.....
- ケニア(葛田就子)
◆ 女性リトリートに出席を許された感謝
◆ 資格心臓外科週の上週目が守られ支えられた感謝
◆ 病院が異端の教えから守られるように
- 台湾(平瀬)
◆ 2月21日の台中・台南での特集のため。那覇教会ゲストの出入りごと奉仕が祝されますように
◆ 大寒波を越え、春を迎えます。春節の休みを越え、新年度の歩みが守られますように
◆ 個別開催中の信仰入門クラスが守られますように
◆ 私たち家族の健康と生活のみ守りのために。明里の高校受験のため
- ◆ 被災地の方々に速やかに支援体制を整えられ、実施されるように。被害のあった方々が、寒波の中、守られなさいますように
- カンボジア(葛田緑乃)
◆ グレック宣教師の開拓教会のため。2人の娘さんの教育費のため。生活費のため。奥様にお仕事を与えられますように
- ◆ ヴァンディー牧師はマーク宣教師と一組のフィリピン夫婦の協力を得てブノンペン郊外に1月から開拓を開始しました。土地

- と建物を与えられるように
- ザンビア(富澤)
◆ 宣教師館プロジェクトのため
◆ 日本における治療のため
◆ ザンビア(根廻)
- ◆ 日本での巡回報告の祝福のため
◆ 第2期の時期への準備のため(5月末の予定)
- ボリビア(三森)
◆ コトカ市での礼拝、聖書の学び会が祝されますように
◆ リーダー・トレーニングクラスがなお祝されますように
- ◆ 働きを中心になつて二組のカップルの霊的成長と、神学生たちの学びのため
- ◆ 私たちの霊肉の健康と今後の働きのため
香港(鹿島)
◆ 教会員の霊的成長のため
◆ イースター洗礼式準備のため
◆ 香港と近隣地域で邦人伝道の働きが広がられますように
◆ 牧師夫妻の健康のため
- フィリピン(豊田)
◆ フィリピン神学校の学びのため
◆ 3月から始まる第3期フィリピン宣教師準備のため
- ◆ 日本で留守を守る恭子と3人の子どもたちのため
- 東京国際教会(葛田康毅・由理)
◆ 4月就任予定の主任牧師・諸長楽牧師のビザが与えられるように
- ◆ 3月28〜31日の中高生春キャンプが祝されるように
- ◆ 二人の健康が支えられ、奉仕が祝されるように

聖宣神学院報



Immanuel Bible Training College

生き方の総括

院長 ● 河村 従彦

「主は私の……」

(詩篇二三・1)

なぜ詩篇二三篇の書き出しは、「主は私のスーパーマン。欲しいものは何でも手に入ります」ではないのか。神の民は勝利するとい

う希望的な価値観で人生を考えれば、「乏しいことがない」という言い方は、なんとも中途半端な感じ。もし「欲しいものは何でも手に入ります」だったら、キリスト者の人生はとてわかりやすいと思います。しかし、その場合、人間存在の崇高さとか、通り一遍に行かないからこそ感じる神さま

の造られた世界の奥行きみたいなものは削ぎ落とされるだろうと思います。聖書は勧善懲悪思想では読めません。勝ち組になれることを無条件に保証するものでもありません。信仰を持ったら儲かるとも言いません。

絶妙な落としどころを探るような、ある種のわかりにくさを残しつつ、それでも詩篇23篇が描き出すとする世界には惹かれるものがあります。何に惹かれるのだろうか。改めて考えてみました。

献身してよかった。そう思います。しかしこの表現は、こだわって言えば正確ではありません。な



ある日の昼食の風景 ボランティアの姉妹とともに

ぜなら、「献身『して』」、つまり、自分の人生をどうするか決めたプロセスは、自分が「して」と言えるほどのものでなかったからです。喜んでお従いしたのでもなく、委ねたらどうなるかも見えていませんでした。でも、なぜかそうしたシンプルにそれだけです。いろいろな現実には難しいことがあっても、キリスト者の生き方には、「主は私の羊飼い。だから、いつくしみと恵みが私を追って来る」と言えるだけのものがある。委ねてみる生き方、神さまに「やっていただく」ことにした生き方は不思議です。それが、詩篇23篇の描き出すとする世界なのだろうと思います。

「主は私の……」の「……」のところは何が入るだろう。そのひと言は、自分の今日までの生き方を総括するひと言だと思います。

神学エッセー

説教について考えよう2 説教と会衆との関係



内山 勝

説教の問題を考えようとするとき、説教者と会衆との関係は無視できない重要な要素となります。会衆あつての説教者であり、同時に、説教者あつての会衆でもあるからです。

「良い説教者は良い聴衆を育て、良い聴衆は良い説教者を育てる。」とは、まさに至言です。

■説教者は会衆の中から生まれる
先ず忘れてはならないのは、説教者は、会衆の中から生まれ(輩出され)るという事実です。

説教者は、旧約の預言者エリヤのように、どこからともなく突如現れるものではありません。もちろん私たちのグループでは、必ずしも自分が育てられた教会の説教者となるわけではありませんが、福音を聞いて回心し、教会共同体の中で育てられた人が、主の招きに応じて献身し、説教者となるのです。ということは、教会が、共に礼拝を捧げつつ、次の時代の説教者を生み出すのです。献身者が少

ないのは、いるはずの人がそこにいないからではないでしょうか。それは、各教会の責任でしょう。

■説教者は会衆に育てられる

牧師になりたての頃、説教の何たるかを知らないでいた私の説教を聞いた方々には、大変申し訳なさを覚えます。しかし、その一方で、忍耐をもって聞いてくださる方々の故に、私は育てられてきたのだと実感し、感謝しています。

不思議にも、今日はいまうまいかなかったと思う日に限って、「今日の日メッセージは私のためのものでした」「本当に慰められました」と分かち合ってくくださる方々があります。説教とは、私が語るのはなく、主ご自身が語られるのだと、遜らされます。

礼拝の最後に真剣に祈られる信徒の祈りに、「そうか、主はどのように語りかけたのか」と改めて納得させられる時もあります。子どもたちが礼拝ノートに、マンガで、私より上手にメッセージをまとめてくれることもあります。こうした会衆から、私は多くのことを教えていただいています。

*

説教者と会衆が愛と信頼で結ばれているとき、その教会の礼拝は本当に美しいものとなります。

説教で恵まれない方は、今週1週間、あなたの牧師のために、心から愛を込めて祝福を祈って、この共同作業に加わってくださいませんか。よろしく願います。

◆信徒土曜講座を受講して

心の動脈硬化予防対策

中目黒教会 小林正枝

信徒講座「聖書は文脈で読む」に弱った頭と身体を引きずって再び老いの木登りに挑戦しました。これまで10年以上前に昼間のお茶の水聖書学院や他所で聖書を学んできましたが、この様な科目は初めてで毎回ワクワクと胸を躍らせています。

聖書を歴史文書としてとらえ文脈的・帰納法的な聖書の読み方を学び文脈・背景・人物に着目しながら読むことを教えられ、何と無知で頓珍漢な読み人であったかと気付かせていただきました。

各回の予定に記されている聖書箇所や聖書読みのコツを予習して参加するものの、視点の貧しさ故に当日はドンデン返しに、感動し瞳孔が開いてしまいます。

その心地良さは何なのか？主の恵に心が反応して心の目が耳が開かれていくのを実感できる授業です。

老いてくると感動することが少なくなると言われますが、この信徒講座こそイエスさまの深い恵みの真只中を歩む秘訣を学び、若い感動を味わうことが可能です。

河村先生の講座を四科目受講しましたが、自力ではなく徹底した恵みコースを歩み、個人的な神さまとの人格関係を通してより深く真実な神さまの知識を求め続けたいと願っています。

そして、このような講座は老いにも若きにも心の動脈硬化予防にお勧めです。また自分自身の心の現実と向きあい、これまでの思い込みに気付いても、喜んで修正したいと思わない方々にも神さまの栄光の豊さが聖霊により感動の経験をさせて下さると信じています。

◆信徒土曜講座を受講して

聖書の読み方を学ぶ

立川教会 小野正三

信徒講座を受講できたことを、まず主に感謝致します。この講座の知らせを聞いたとき、「聖書の読み方を学ぶ」ということに関し、教えて頂く者の一人として、自身自身が本当はしっかり聖書を読み取っていないのではないかとという思いから参加させていただきました。

講座に参加し、学ばせて頂く中で、改めて救いは主の恵みであるということ、「にもかかわらず」という発想でみることが書かれてあることを教えて頂き感謝でした。

還暦を2年前に迎え、定年退職して第二の人生を歩ませて頂いて、昨年4月から職場が変わり週4日から5日勤務となり、現役時代に担当しなかった総務の設備管理や契約事務等のきつい仕事中心の毎日で正直、精神的に疲れておりました。しかし、信徒講座に参加し、みことばを恵みの観点から、じっくり学ばせて頂いて、主なる神様の憐れみ、配慮、支えを感じて励まされました。

ぶどう畑の気前の良い雇い人の喩え話の引用で、夕方5時から働いた者でも、9時から働いた者と同じように報酬を与えて下さる雇い人の喩えである主に対して私自身も、どこか不公平感を持ってこの箇所を読んでいたのでとは思いますが、先生から実は、私たち自身がお話があつて、神さまの目から見れば、そういう者、恵みによらなければ、救いにあずかる資格のない者と改めて教えられました。

仕事上で無理難題を言い、自分の責任を押し付けてくる上司を、正直、クリスチャンである自分が心の中で裁いていたことがありました。神さまは、私の心の中をご覧になって、嘆いていたことだと思えます。

仕事が予定どおり進まず苦しい時には、必要な助けが与えられるように、悩みながら、主に叫びながら歩んできた新職場での1年の歩みでした。なんとか切り抜けられたのは、不思議な主の恵みでした。

決して優秀な者ではなく、むしろ失敗だらけの私をも見捨てない主に改めて感謝をできる学びができたと思えます。

た。

講座を通して、人は主の恵みを忘れやすい者であるという事実をも学ばせて頂きました。旧約時代の主に選ばれし人たちが、晩年に主から離れた事実も聖書は隠さず記載しています。そのことは、信仰はただ神さまの恵みであり、自分の才能や能力、努力によらないことをはつきり示しているのだと改めて思います。失敗の多い者をも見捨てず、恵んで下さる主の衣の裾にすがりつつ、残された生涯を歩ませて頂きたいと願っております。

◆信徒土曜講座を受講して

バビロン捕囚を学んで

聴講生 秋田郁美

神学生でありながら信徒講座を受講させていただき、感謝しております。特に今回は「バビロン捕囚」について学ぶことができて大変有意義でした。

バビロン捕囚は、イスラエルの民の歴史に関する出来事として出エジプトに次ぐ重要なものです。しかし、バビロン捕囚に関する記

述は旧約聖書の中でも多岐にわたっており、それらを全て読むには大変な時間を要しますし、読んだところでその全容を理解するのは難しいです。信徒講座では矢木良雄先生が毎回大変細かい解説のプリントを作ってください、わかりやすく説明してくださいました。特に「哀歌と詩篇」「エレミヤ書」「エゼキエル書」「イザヤ書」それぞれからわかる捕囚の意味を各回に分けて、重要な聖句とともに解説していただいたことは、神学校一年目の私にとって貴重でした。

講座は全8回ということで、駆け足でしたがバビロン捕囚の概要がわかりました。捕囚はイスラエルの民に対する神の裁きであり、試験でありましたが、神ご自身も苦しまれたということ、そして何とかして民に神の愛と救いをわかって欲しい、という切なる思いが色々なことばに表れていると思いました。だからこれらの聖書の箇所には現代の私たちも励まされる有名な聖句がたくさんあります。また、捕囚後にユダヤ人が各地に散らされていき、会堂ができたことによりユダヤ教が確立されていったということが後の新約の時代の礎となったと言えるのではないのでしょうか。現在の混沌とした時代、捕囚期の神の言葉に耳を傾けることも大事だと思いました。膨大な聖書の箇所を毎回プリントにまとめてくださった先生に感謝しております。今後も旧約の学びを深めていきたいです。

私の神学生時代
主に守られて
4期生●内山和恵



昼は授業があると笠原姉がうどんを煮てくださり助けられました。授業は英語Ⅱスミス師、教会史Ⅱ谷口師、音楽Ⅱ岩城美枝子師、その他の科目は、葛田二雄院長が教えてくださり、教科書はなく、先生が翻訳されるのを筆記しました。一期生と一緒に学び、時には牧会的な話題に発展し、多岐にわたる教えと恵みに与りました。

神の奇しいご計画により、聖宣神学院の建物が、北浦和に与えられた年。1950年9月15日、二期生として、入学式に臨みました。「あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい」(創世記二・1)。主の召しに相応しく従いたいと祈りました。寮生活は朝5時半起床、夜10時消灯です。一期生と二期生で、30名位でした。

まず教えられたことは、「敬虔のために自分を鍛錬しなさい」(1テモテ四・7)。神の前に座ること、「あなたは私の前を歩み全き者であれ」、神の前にある生活の確立でした。私にとって苦手なことでしたが、主に倣い、神と交わり祈ることを型からですが致しました。生涯追い求めるべき事と心に刻みました。「神に近づきなさい。」炊事当番に数名で当たりました。薪のかまどで、朝食のご飯と味噌汁を作ります。舎監の宣子先生や笠原姉に教えて頂き、作業しました。聖所に仕える心でと教えられ、行き過ぎてスローになって、一同注意を受けたりと笑い話のような事もありました。ただ真剣でした。

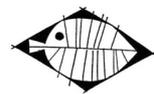
「死に至るまで忠実でありなさい。」(黙示録二・10) 聖句のうち、一番心に残るのは、「神の国とその義をまず第一に求めなさい」(マタイ六・33)。「このみことばに生きるなら、どんな時にも神は助けて下さる」と遺言のように語ってくださいました。思い返しますと、貴重な毎日を一気に駆け抜けた3年間でした。院長始め多くの先生方の愛と忍耐、多くの方々の祈りと支援を頂き、感謝しています。

同窓生の近況

36期生

横浜カナン・キリスト教会

佐藤 敏



横浜寿町での伝道は、ここですか味わえない、何が起るかわからない毎日がドラマです。寿町には様々な事情で傷つき疲れ病んでいる人達が集ってきます。アル中、シャブ中、ギャンブル中、身体障害、知的・精神障害などの人々が神様に無関心、不信心、敵対心の状況でいるのです。私と韓国人宣教師の妻と小3の養女と教会スタッフはこれらの人々と関わる感動的な体験を神様から賜りました。地上人生は礼拝と伝道です！特に伝道は今しか出来ません！生きている内にしか救いの機会はないからです。(ヨハネ一・26)

敵を愛し、赦し、迫害者のために祈ること。そのために傷つき不快を味わい損をした事もあり、それは天国ではできない事として大いに喜び感謝をして、主の愛を体験させて頂きました。今迄、経済的困難、環境的困難等様々ありましたが、神様が様々な人や状況を通して助けて下さいました。主が全てです。主あつての私です。今66歳。そろそろ世代交代、70歳までに後継者を育てたいと思います。

神学院スタッフ…恵みの想起

神学院の3月の花は

宮繡課 徳竹信雄

神学院の3月の花はモモと沈丁花です。かつてのモモの老木は切り倒され、今は4本の若木が花を咲かせています。同じ老木から生まれた若木ですが、一株だけ微妙に色合いが違います。花の色はピンク、でもほとんど匂いしません。一方、ロータリーには沈丁花の大株・小株4本が育っています。それとみごとに春の香りを運んでくれています。この花が咲いたころ、私は神学院を卒業して、いよいよ牧師に旅立つ時でした。不安と焦りとでナービスになっていた時に、慰めてくれた匂いでした。うれしく懐かし、そして少しさびしい気持ちが入り混じって、今年も元気よく卒業生を实践の畑に送り出します。「エサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ」(イザヤ一一・1)。

学苑だより



- 1年の祈りを感謝致します。
- 1日(火)・2日(水)は奉仕の日、ワックスがけをしました。
- 4日(金)には卒業式・終業礼拝を行い、卒業生・修了生を送り出しました。送り出す喜びとともに寂しさもあります。
- 7日(月)には入学審査が行われます。神さまが献身者を備えてくださるようにお祈りください。
- キャンパス維持の取り組み
- メンテナンス委員会が挙げられた中長期的課題の一つ、樹木がかなり生い茂ってきましたので、今年から来年にかけて、伐採のプランを策定するなどキャンパス全体の見直しを行います。

- 新年度は31日(木)の歓迎夕食、4月1日(金)の入学式・始業礼拝をもって始まります。
- 3月の神学院祈り会は15日(火)・午後6時からです。年会で一週間繰り下がります。

サポーターズ

感謝の心より心より
おかげもの会計
謝申し上げつつ、1月の
報告をさせていただきます。

1月分支援実状
〔今年度毎月献金目標〕
¥2,000,000

教会員による
「神学院サポート献金」
¥742,210
教会団体による「神学院献金」
¥1,137,455
合計 ¥1,879,665

その他の献金(一時・特別)
¥179,250

・振替：00230-0-10138

公報

本部通達

「あなたがお与えになると、彼らは集め、あなたが御手を開かれると、彼らは良いもので満ち足ります。……あなたが御霊を送られると、彼らは造られます。また、あなたは地の面を新しくされます。」
 (詩篇一〇四篇28、30節)

今月上旬は、大切な第七一次教団年会・聖会が開催されます。祝福を祈りつつ、万般に主の豊かなご臨在と導きがありますように、また年会的目的(事務的な報告や協議、霊的な刷新と調整、主から新たな任命を受けて遣わされること)が果たされますように、全教会においてお祈りください。

また今月下旬は、受難週、27日が今年のイースター聖日となります。よみがえりの主をひたすら仰ぎ、その恵みに生かされて、新年度の働きに踏み出しましょう。

■本部

山口教会(平瀬聡樹牧師)は会堂を建て替えることになりました。建設諸費用5656万円は自己資金、銀行融資、教団融資(1500万円)で充当します。正規の手続きを経て、教団責任役員会は承認しました。

2016年1月8日

イムマヌエル綜合伝道団
責任役員会

〈会議〉

8日(火) 年会初日午後
 教団責任役員会(決算書承認)

■第71次年会

すでに送付された年会招集状にありますように、全牧師は、8日(火)午後5時までに、年会会場(国立女性教育会館・ヌエック)にお集まりください。

すべての集会が信徒の兄弟方にも公開されておりますので、許される方は、ぜひご参加ください。

■財務委員会

第71次年会のための総予算は九〇〇万円で、その内八二四万円が教会分担金として計上されました。各教会で実施される年会献金へのご協力をよろしくお願いいたします。

■国内教会局

〈全国主事会議〉

10日(木) 年会終了後
 会場 国立女性教育会館

〈JHA関連〉

6日(月) 全国JHA評議員会

■総務局

〈第71次年会関係のお願い〉

年会は3月8日(火)午後5時(必着)〜10日(木)午前までの開催となります。本部で行われている最終的な準備のため、先生方やご家族、信徒方の出入りのためにお祈りください。なお、準備・運営のためにさまざまな係分担任をお願いしておりますが、ご協力をお願い申し上げます。

昨年同様、先生方には事前に年会資料を送付いたしました。質問

等がある場合は、3月4日(金)までに、本部・総務局長宛に書面にてお送りください(メール・FAXも可)。

▽単位法人格を持つ教会は、毎年法的義務として、毎会計年度終了後4か月以内(本教団の場合、通常4月末まで)に、宗教法人の事務所に備え付けの書類の写しを、各都道府県所轄庁に提出するようにお願いします。この場合、事務所に備え付けの書類とは、役員名簿、財産目録、収支計算書・貸借対照表(作成している場合)、境内建物(財産目録に記載されているものを除く)に関する書類、事業に関する書類(行っている場合)となります。提出の際、同じ写しを本部総務局宛にもご提出ください。よろしくお願いします。

■世界宣教局

▽ザンビア派遣の富澤香宣教師の赴任は2月末の予定でしたが、3月6日に変更になりました。お祈りに覚えましょう。

▽豊田常喜宣教師ご一家は、3月9日(水)にフィリピンに再赴任の予定です。今期はロサリスを拠点としての活動となります。お祈りください。

▽2月6日に台湾南部の高雄を震源とした大きな地震がありました。が、台中・台南の教会関係者に被害はなかったとのこと、復旧のために祈りの手を挙げましょう。

■教育局

〈若手牧師研修会〉
 日程・7日(月)〜8日(火)

会場・国立女性教育会館
 (とにキャン関係)

◇とにキャン・スタッフ・トレーニング・キャンプ
 日程・3月20日(日)〜21日(月)
 会場・イムマヌエル聖宣神学院
 参加費・三、五〇〇円
 (交通費補助あり)

申込締切・3月5日(土)
 詳しくは案内・参加申込書をご覧ください。

◇第9回全国中高生とにキャン
 日程・8月9日(火)〜12日(金)
 会場・聖山高原キャンプ場
 (ユース・ステーション関係)

◇ユース・ステーション全国大会
 日程・8月15日(月)〜18日(木)
 会場・奥多摩福音の家
 講師・小坂嘉嗣師(日本宣教会・狭山キリスト教会牧師)

■聖宣神学院

▽入学審査を3月7日(月)に行います。お祈りください。

▽神学院祈り会 3月15日(火)午後6時から、本部会議室で行います。メッセージは田中進師。年間で一週間繰り下がりますので、お間違いないように。

▽在校生の教会実習は3月第4聖日まで継続します。実習受入教会の先生方、信徒の皆さまに心から感謝致します。4月第一週から新年度の教会実習が始まります。

▽入学式は4月1日(金)午前の予定です。

■祈りのネットワーク2016

新しい祈りのネットワーク作成のための写真や祈りの課題提出を

よろしく願います。編集作業の推進のため、できるだけ早めのご提出をお願いいたします。(郵送の場合は久留米・吉村和記師へ、メールの場合は immanuel.or.jp まで)

■出版事業部

▽信徒のスタッフは午後4時で帰宅いたします。注文、問い合わせ等は午後4時前までお願いいたします。また午後3時を過ぎた場合、翌週扱いとなる場合があります。聖書などは在庫がない場合、取り寄せとなります。

消息報告



▼昨年春の教団70周年記念礼拝で幸いな賛美の御奉仕をいただいた元宣教師のハロルド・ジョンソン師が、先月5日(金)、91年の地上生涯を終えて天に凱旋されました。3月に記念会が予定されています。日本での長きにわたるご奉仕に主の豊かな報いを祈りつつ、ご遺族に天からの慰めをお祈りしましょう。

▼船橋教会は2月11日(木)に、バイブル・センター(第一期工事)の竣工感謝・献別式を執り行いました。今後、礼拝堂のコミュニティ・チャペル建設工事(第二期工事)2017年春まで)に取りかかります。工事が無事進められ、必要が満たされるようお祈りしましょう。

発行人 藤本 満 編集者 北田直人
 発行所 東京都千代田区神田駿河台一

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇
 OCCビル イムマヌエル綜合伝道団本部

新生宣教師 定価 一部〇〇円(税込)
 郵便振替 001107133609